

5. 地質調査結果

5-1. 各団地の地質分布

竹内工業団地・昭和工業団地・旗ヶ崎工業団地及び崎津工業団地の各工業団地の地質分布は、以下に示すとおりである。

(1) 竹内工業団地

竹内工業団地の地質調査は、図5-1. 1の位置図に示す位置で実施されており、代表的な地質断面図は図5-1. 2～図5-1. 6の断面図に示すとおりである。

標高TP-8m程度以浅は現世の埋土(R)層であり、西側は標高TP+0m程度まで薄くなっている。現世の埋土(R)層の下位から標高TP-15m～TP-42m程度までは、第四紀の沖積層であり、標高TP-15m～TP-42m程度以深は第四紀の洪積層が分布している。

なお、今回の調査においては、標高TP-120m程度で第三紀の泥岩層を確認した。

埋土(R)層は、砂質シルトを主体として埋め立てられているが、部分的に砂質土を主体とする所があり、極めて不均質で軟らかいまたは緩い地層である。

沖積層は、砂丘砂層・シルト層～砂質土層・シルト層及び粘性土層で構成されており、緩い～中位または軟らかい地層である。

洪積層は、砂層・シルト層～砂質土層・砂質土層・粘性土層・砂礫層で構成されており、中位～密または硬い～非常に硬い地層である。

第三紀の泥岩層は、固結度の低いシルト岩であるが、非常に硬い地層である。

(2) 昭和工業団地

昭和工業団地の地質調査は、図5-1-7の位置図に示す位置で実施されており、代表的な地質断面図は図5-1-7の断面図に示すとおりである。

標高TP-10m程度以浅は、現世の埋土(R)層であり、標高TP-10m以深は第四紀沖積世の粘性土(Ac)層である。

埋土(R)層は、砂質土を主体として埋め立てられているが、部分的に粘性土を主体とする所があり、極めて不均質で緩いまたは軟らかい地層である。

沖積粘性土(Ac)層は、シルトを主体とし、軟らかい～中位な地層である。

(3) 旗ヶ崎工業団地

旗ヶ崎工業団地の地質調査は、図1-1. 8の位置図に示す位置で実施されており、代表的な地質断面図は図1-1. 9の断面図に示すとおりである。

標高TP-7m程度以浅は現世の埋土(R)層であり、北東側は標高TP-2m程度まで薄くなっている。現世の埋土(R)層の下位から標高TP-23m程度までは、第四紀の沖積層であり、標高TP-23m程度以深は第四紀の洪積層が分布している。

埋土(R)層は、砂質土を主体として埋め立てられているが、部分的に粘性土を主体とする所があり、不均質で緩いまたは軟らかい地層である。

沖積層は、粘性土層・砂質土層で構成されており、部分的に粘性土層または砂質土層を主体とする所があり、軟らかいまたは緩い～中位の地層である。洪積層は、粘性土層・砂質土層で構成され、中位な地層である。

(4) 崎津工業団地

崎津工業団地の地質調査は、図1-1. 10の位置図に示す位置で実施されており、代表的な地質断面図は図1-1. 11の断面図に示すとおりである。

標高TP-4m程度以浅は現世の埋土(R)層であり、ほぼ同じ層厚となっている。現世の埋土(R)層の下位から標高TP-22m～TP-28m程度までは、第四紀の沖積層であり、標高TP-22m～TP-28m程度以深は第四紀の洪積層が分布している。

埋土(R)層は、砂質土を主体として埋め立てられており、不均質で緩い地層である。

沖積層は、粘性土層・砂質土層で構成されているが、砂質土層を主体としており、緩い～中位～密または軟らかい地層である。

洪積層は、粘性土層・砂質土層・礫質土層で構成されており、中位～硬いまたは中位～密な地層である。

- 凡例
- 実施年度
 ← 孔番号
 B-60-1 ←
- : 既往ボーリング位置 (S.60)
 - : 既往ボーリング位置 (S.56)
 - ▲ : ポアブレッシャーコーン位置
 - : ラムサウンディング位置
 - : 今回ボーリング位置

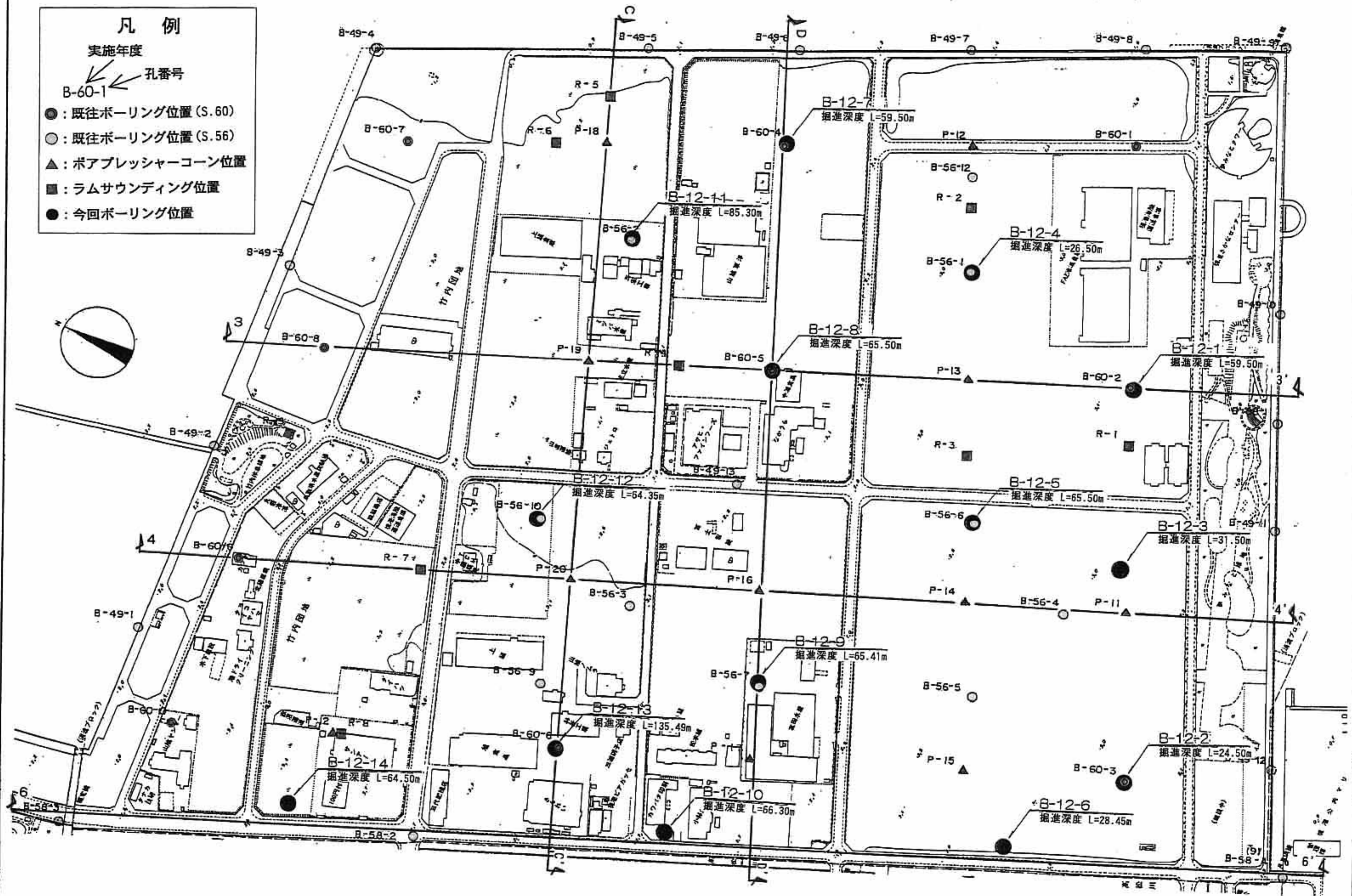
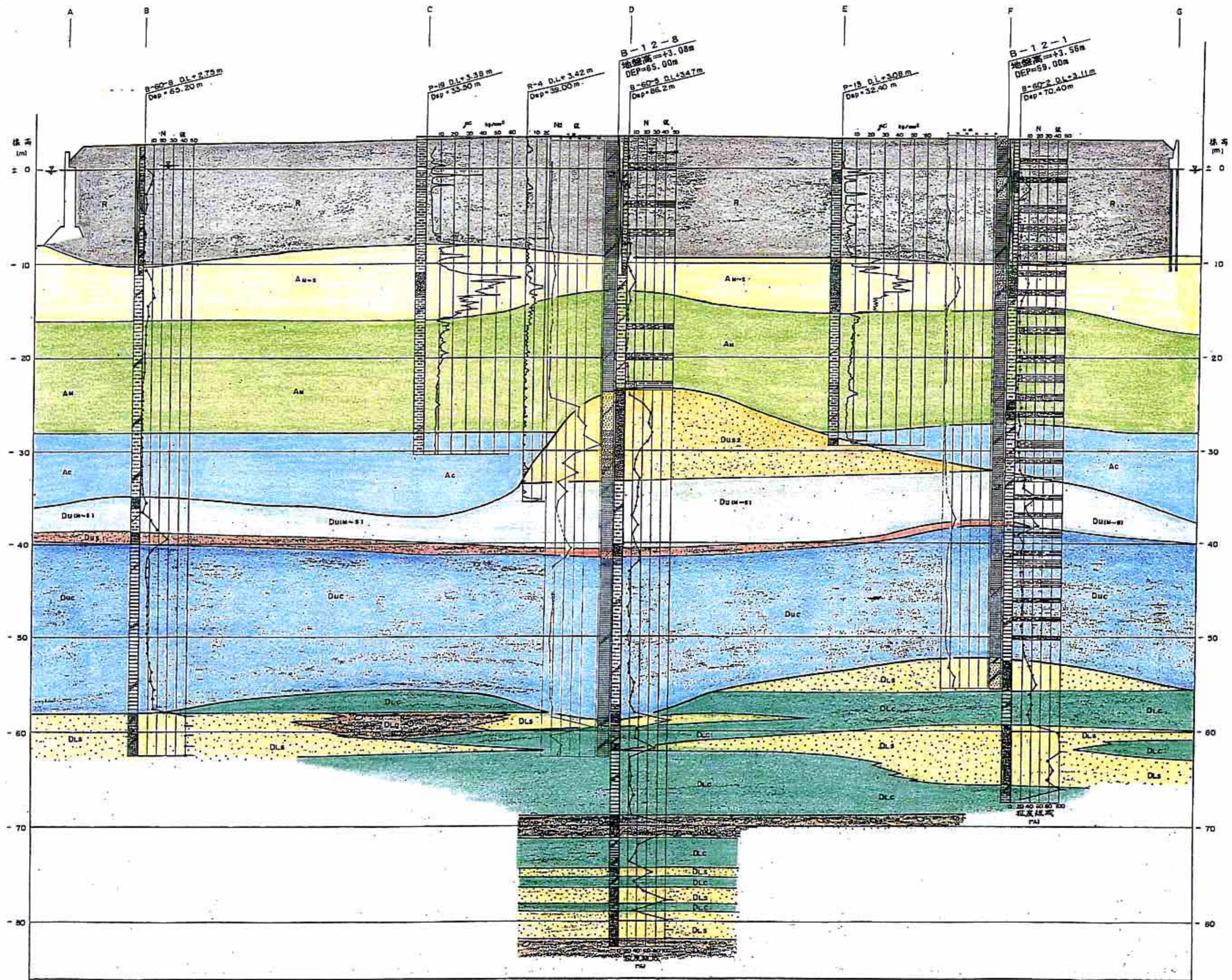


図5-1.1 調査地点位置図(竹内工業団地)



(地層構成)

地質時代	地層記号	地層名
現世	R	埋土層
	Ad	砂丘砂層
沖積世	Am-s	シルト質土層
	Am	シルト層
	Ac	粘性土層
	DUS2	上部砂層
洪積世	DUC-s	上部シルト質土層
	DUS1	上部砂質土層
	DUC	上部粘性土層
	DLS	下部砂層
	DLC	下部粘性土層
	DLS	下部砂礫層

図5-1.2 推定地質断面図(竹内工業団地-3断面)

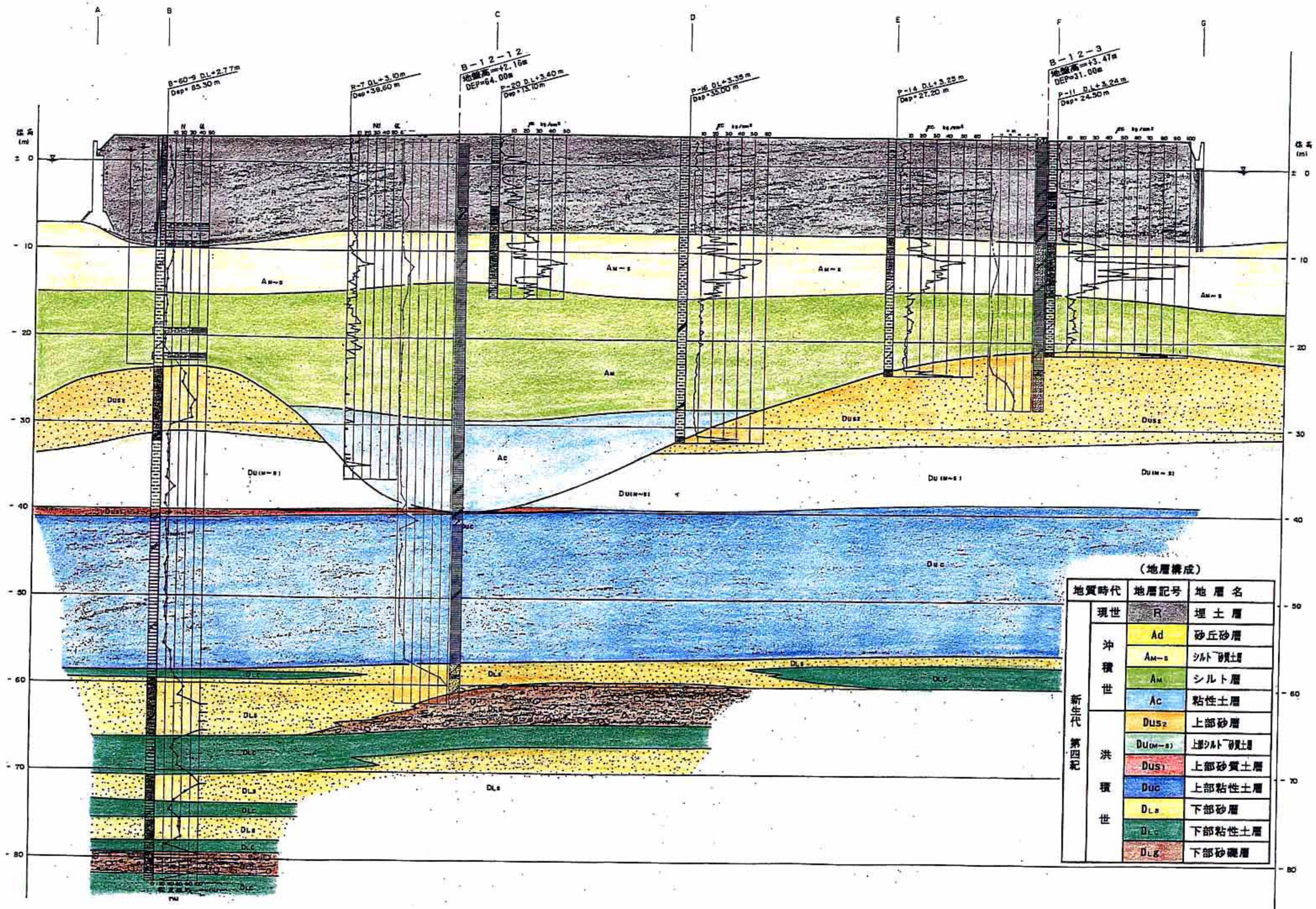


図5-1.3 推定地質断面図(竹内工業団地-4断面)

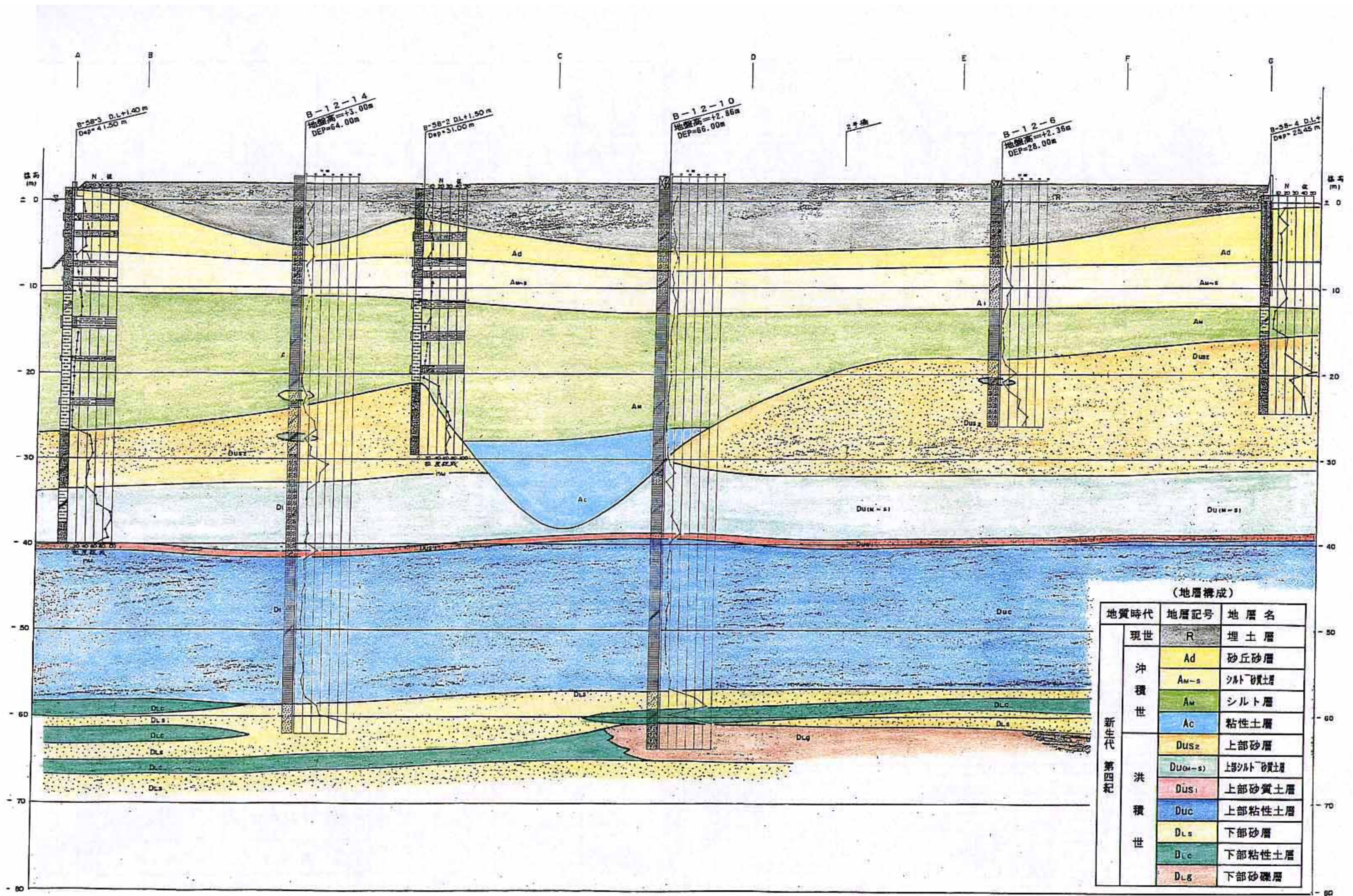


図5-1.4 推定地質断面図(竹内工業団地-6断面)

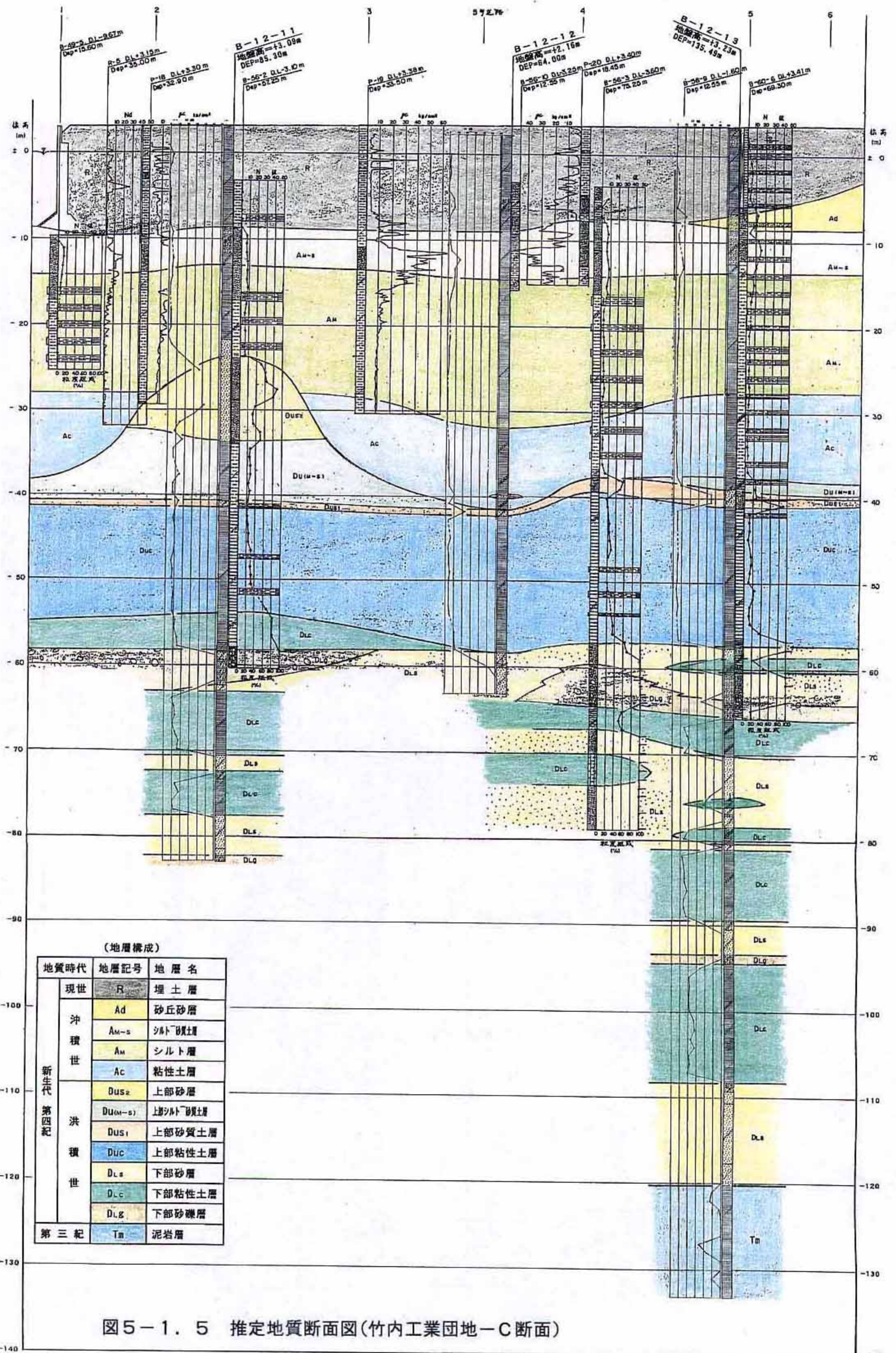
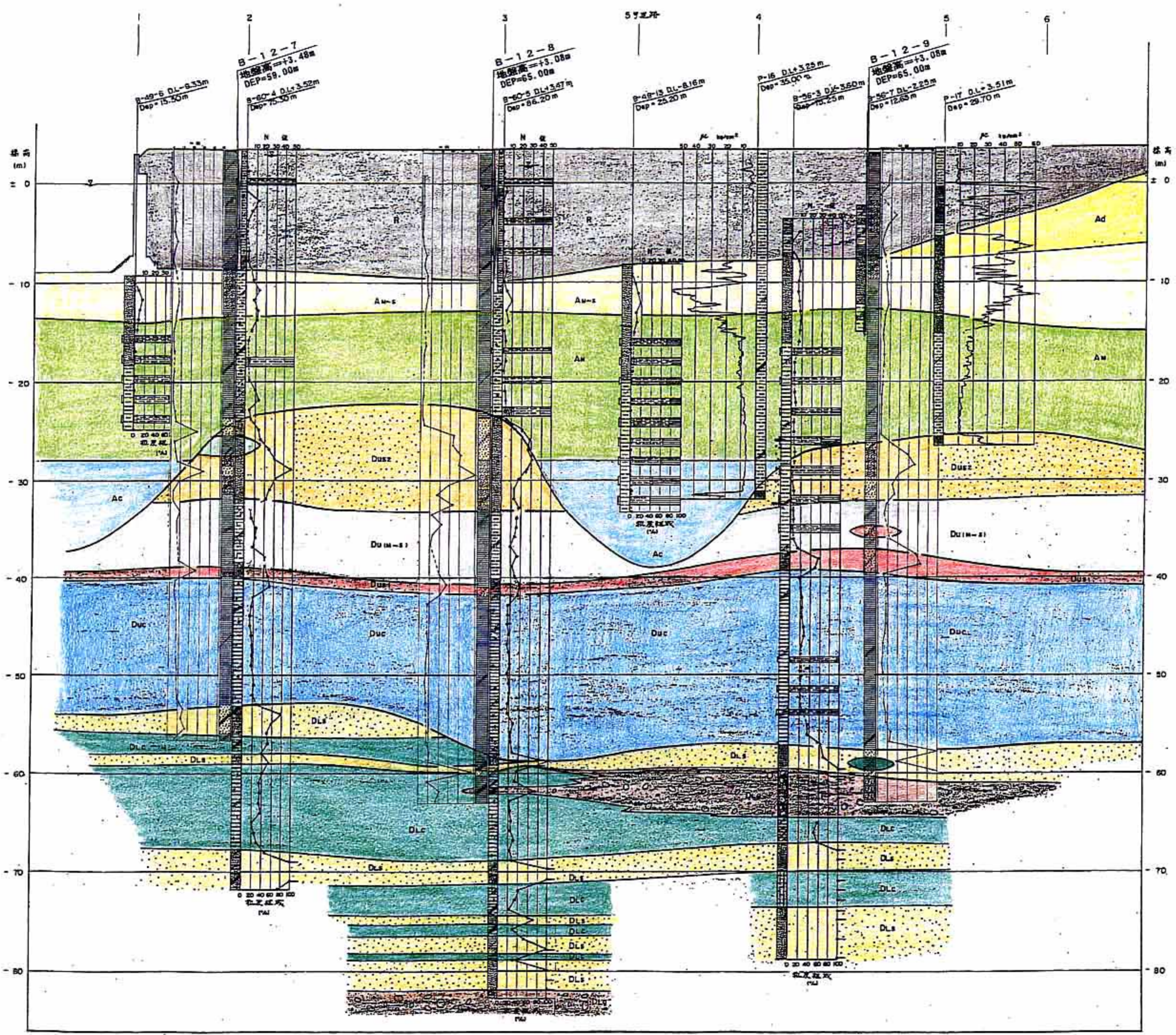


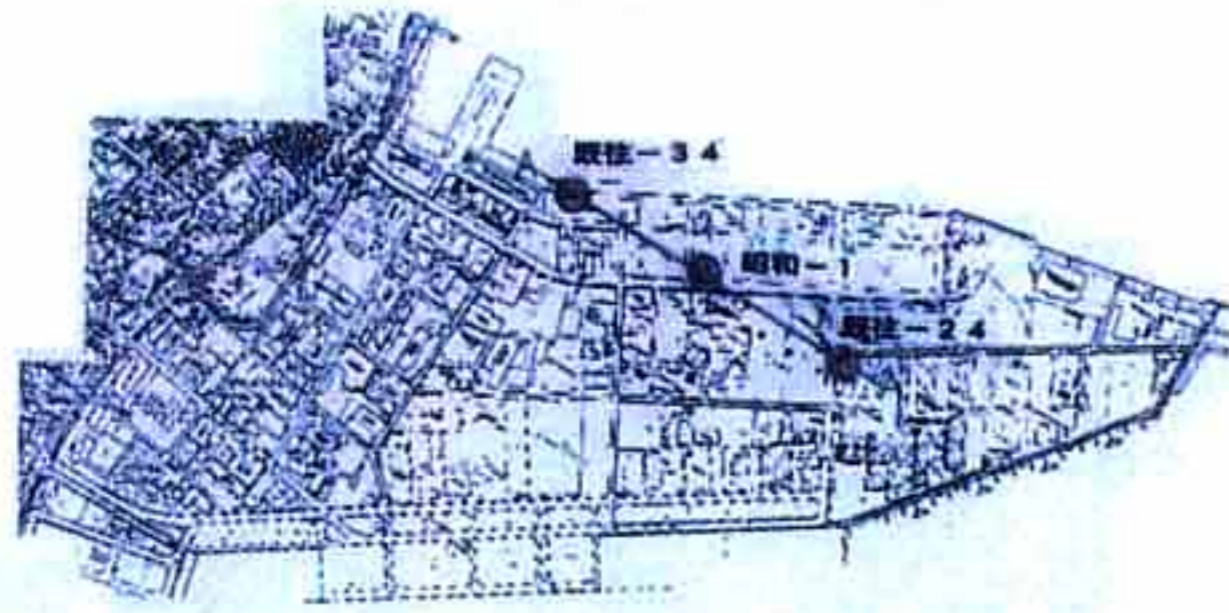
図5-1.5 推定地質断面図(竹内工業団地-C断面)



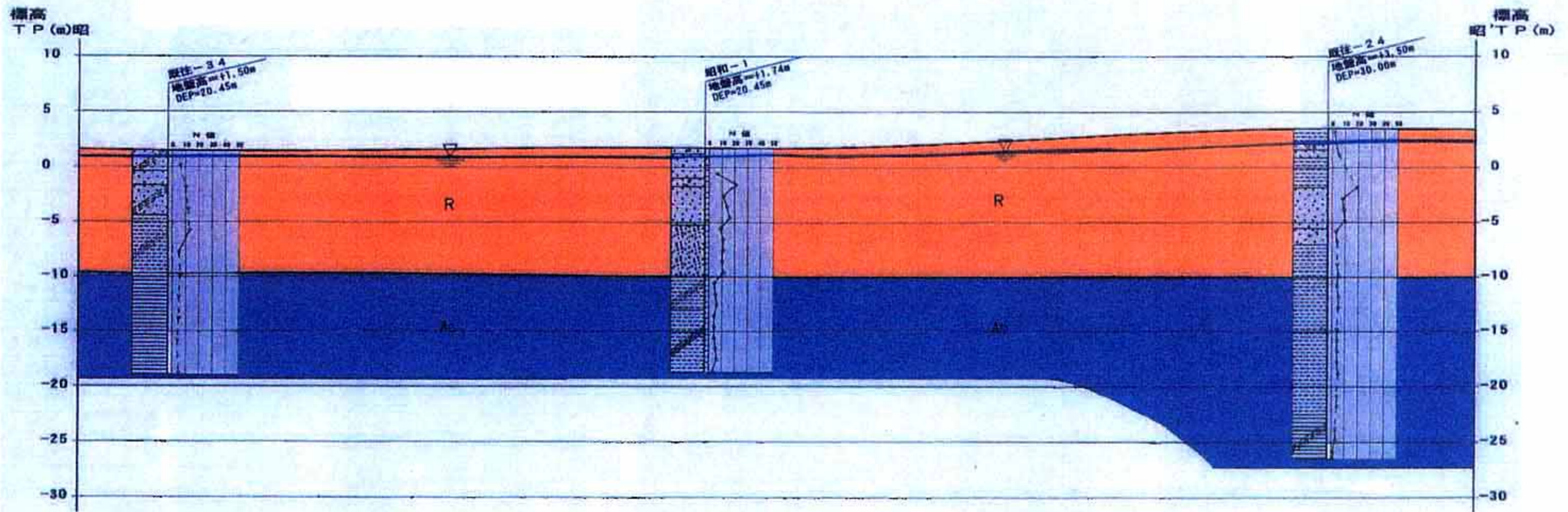
(地層構成)

地質時代	地層記号	地層名	
新生代 第四紀	現世	R	埋土層
	沖積世	Ad	砂丘砂層
		AM-s	シルト質土層
		AM	シルト層
	洪積世	AC	粘性土層
		DUS2	上部砂層
		DU(M-s)	シルト質土層
		DUS1	上部砂質土層
		DUC	上部粘性土層
		DLS	下部砂層
DLS		下部粘性土層	
DLS	下部砂礫層		

図5-1. 6 推定地質断面図(竹内工業団地-D断面)



縮尺 縱 1:400
 縮尺 橫 1:2500



時代	地層記号	地質名
新 生 代 第 四 紀	R	堆土層
	A ₁	砂丘砂層
	A ₂	粘性土層
	A _s	砂質土層
	D _s	上部砂層
洪 積 世	D	上部砂質土層

図5-1.7 調査地点位置図・推定地質断面図(昭和工業団地)



図5-1.8 調査地点位置図(旗ヶ崎工業団地)

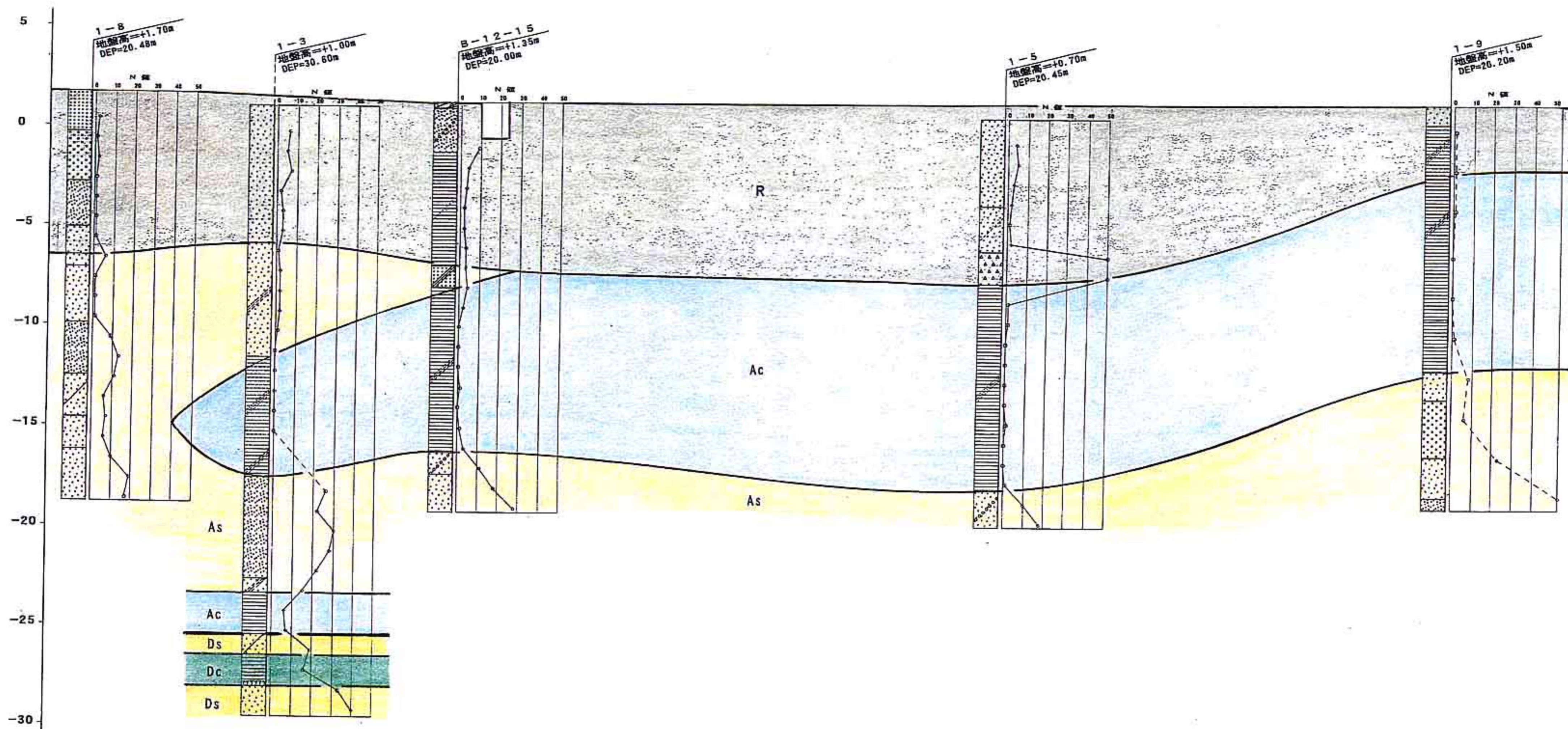
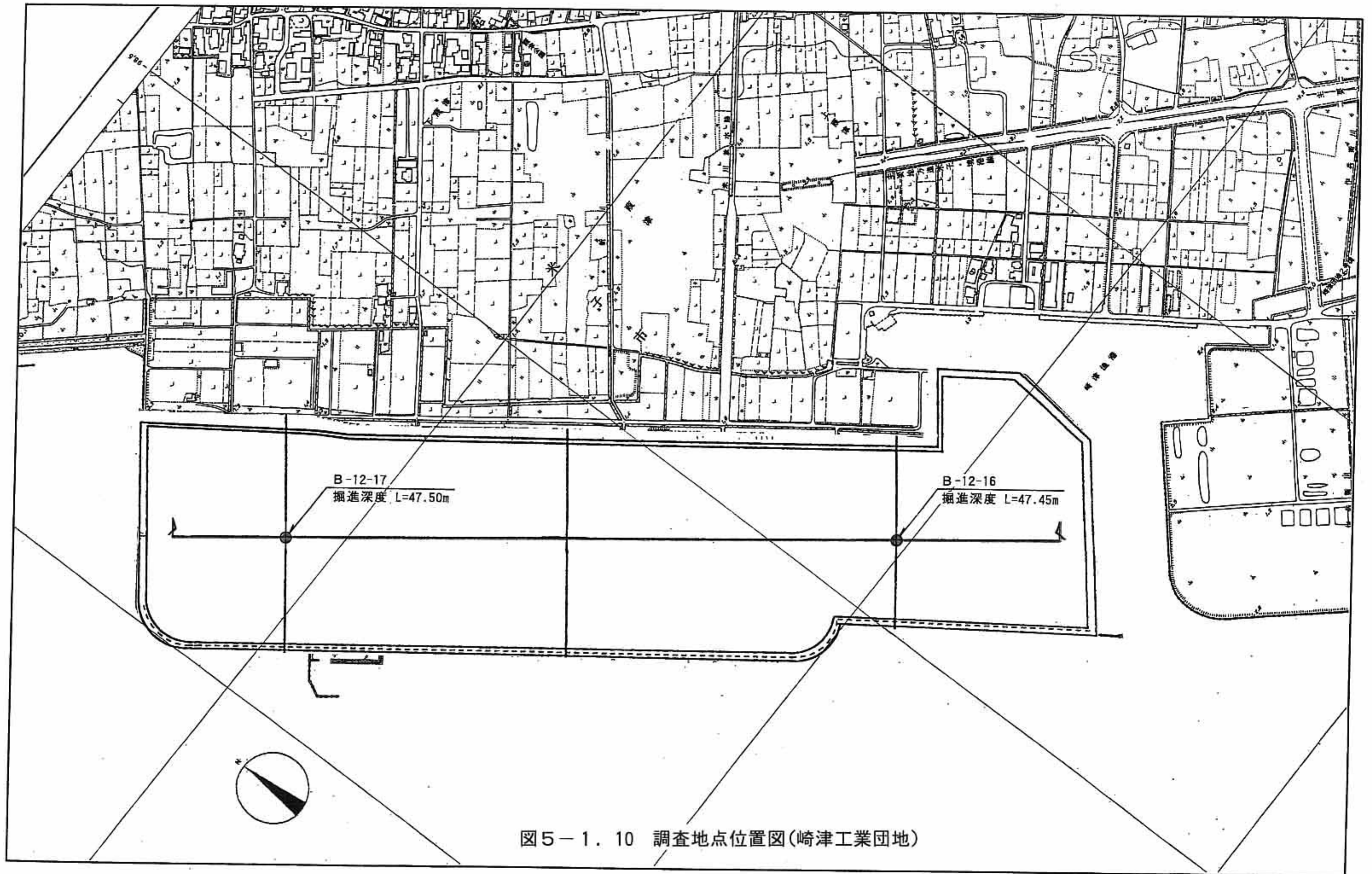
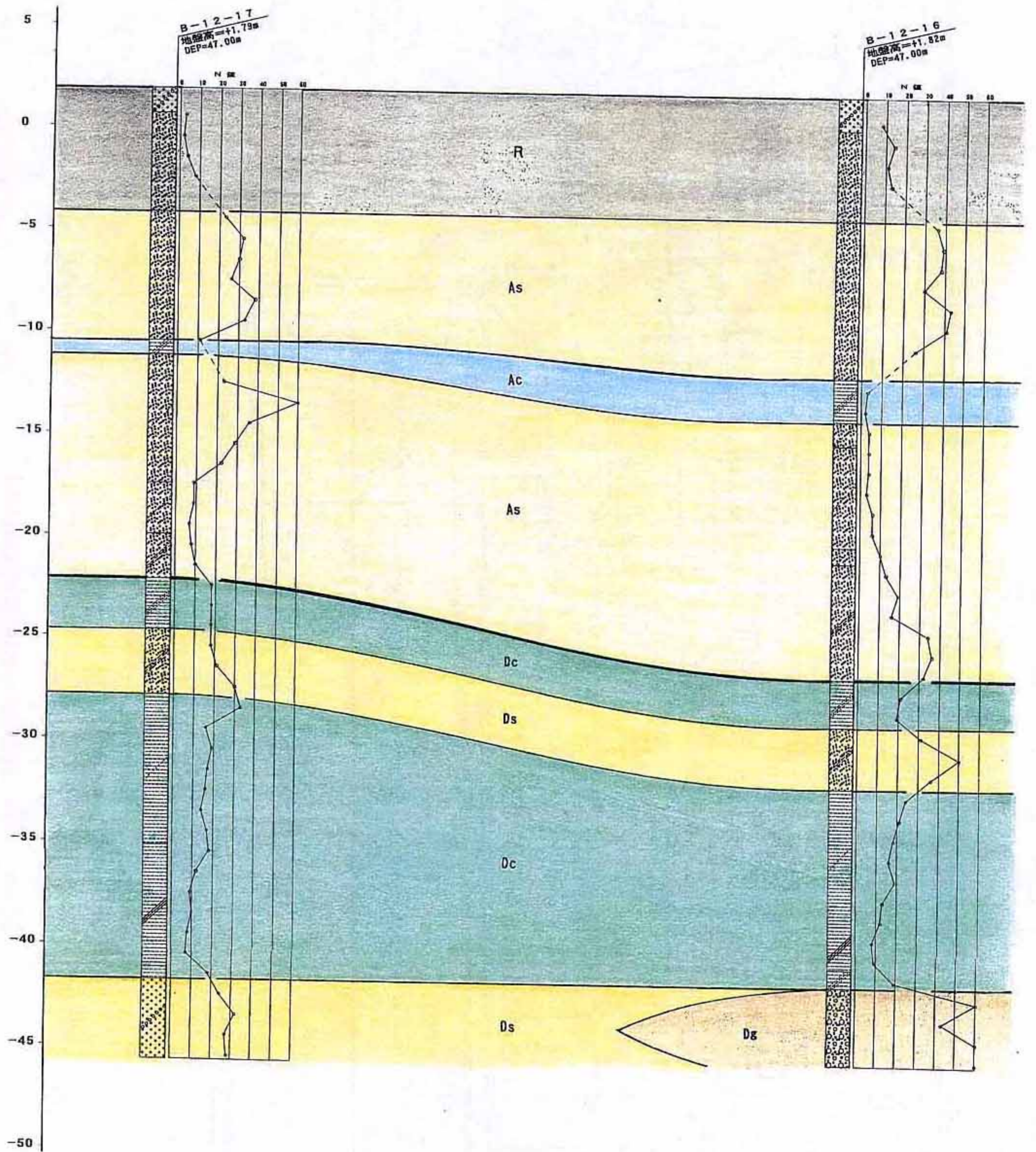


図5-1.9 推定地質断面図(旗ヶ崎工業団地)

(地層構成)

地質時代	記号	地層名
新生代 第四紀	現世	R 埋土層
	沖積世	Ac 粘性土層
		As 砂質土層
	洪積世	Dc 粘性土層
		Ds 砂質土層





- 32 -

(地層構成)

地質時代	記号	地層名
新生代	現世	R 埋土層
	沖積世	Ac 粘性土層
		As 砂質土層
第四紀	洪積世	Dc 粘性土層
		Ds 砂質土層
		Dg 礫質土層

図5-1.11 推定地質断面図(崎津工業団地)